

3月蒲郡市議会傍聴記

地方政治 クリエイト **伊藤 秀昭**

■防犯カメラ
青山義明氏(自由クラブ)は、蒲郡防犯協会連合会の講演で「蒲郡市は屋外で防犯カメラの設置が少ない」との指摘を受けたとして、現在の防犯カメラの設置状況から質問を始めた。

総務部長は公共施設などに216台設置しているが、犯罪抑止のための街頭犯罪対策用として野外で設置されているの

■西浦海岸の諸問題
伴捷文氏(同)は昨年6月の西浦園地駐車場で巨石が落下し、現在、駐車場は全面閉鎖のままになっていることから、アサリの解禁時期で撤去するよう求めた。

伴氏はまた知柄漁港の未利用地を問題にし、アクセス道路が狭いのも要因になっていることから、西浦半島を一周できる臨港道路について

もあり、早期の解決を要請した。
また、くじ港の廃船問題も取り上げた。廃船所有者による自主的な撤去の見通しが立っていないことから、三河港港務所において早期に

■電子連絡帳
竹内滋泰氏(同)は稲葉市長二期目のマニフェストについて質問した。
特に団塊の世代が75歳以上になる、いわゆる2025問題について、蒲郡市が

も要請した。
いずれも多額の費用を要することから、時間ばかり経過している課題である。時間が解決するわけではないので、関係当事者が解決すべきではないのか。

市民福祉部長は施設、医師、歯科医師など現在の登録数は115名であり、電子連絡帳が活用されることから、在宅療養されている市民にきめ細かい対応ができる基盤ができたこと

した。
体制はできたかも知れないが、目的である在宅医療・介護連携、ましてや市民の健康づくりにどう役割を果たしていくかはまだまだこれからであり、そこに一

市民の健康づくり施策第一に

■海陽町周辺整備
来本健作氏(無党派)はラグーナ蒲郡をさらに発展させるために、ラグーナテラポスとして新出発していることから、現状と今後について7項目にわたり、質問した。
特に、ラグーナにおける昨年10月から12月までの3カ月間の入場者数は17万3千人、全体の3カ月間の売り上げは9億6千万円、前年比106.9%であることが明かされた。
企画部長は春にはフラワーラグーン、5月の連休には歌劇団によるエンターテインメントショーも上演されることや、新たなホテル建設が予定されていることを示し、運営事業支援交付金もあり、市としても一定の関わりを持ちながら雇用の場の確保、周辺住民への配慮など蒲郡市の活性化に取り組んでいくと答えた。